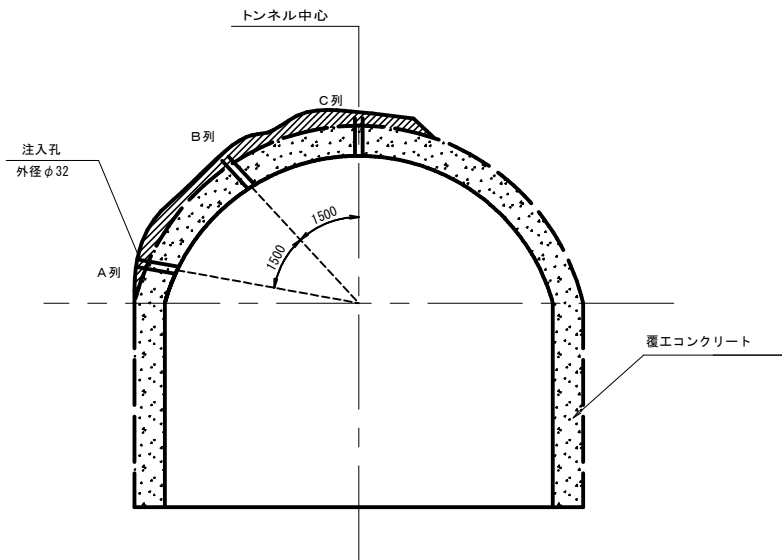
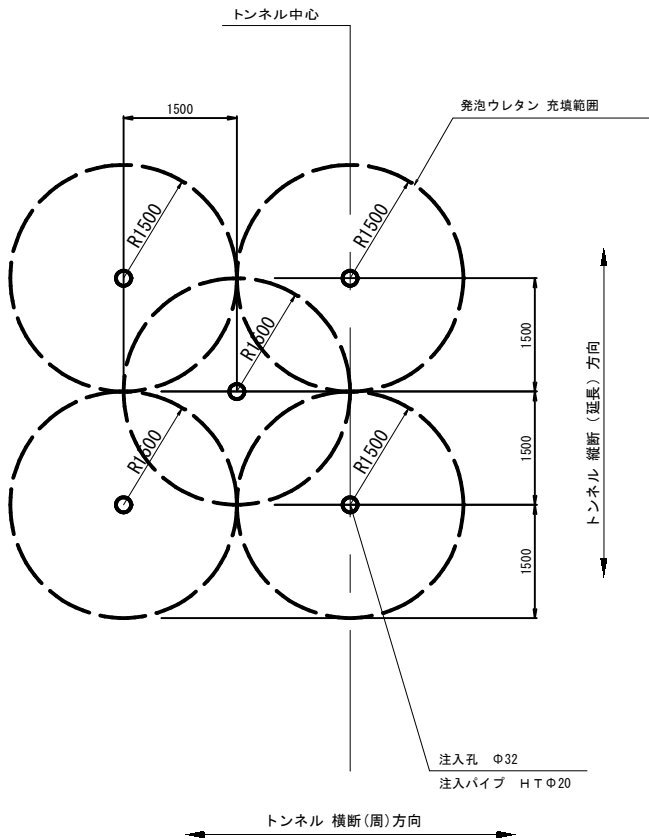


空洞充填工詳細図

断面図



裏込注入孔 標準配置図



※ 注入孔は1.5m間隔を標準とするが、先行して中央の注入孔を削孔し、背面状況に応じて残りの注入孔は適宜調整すること。

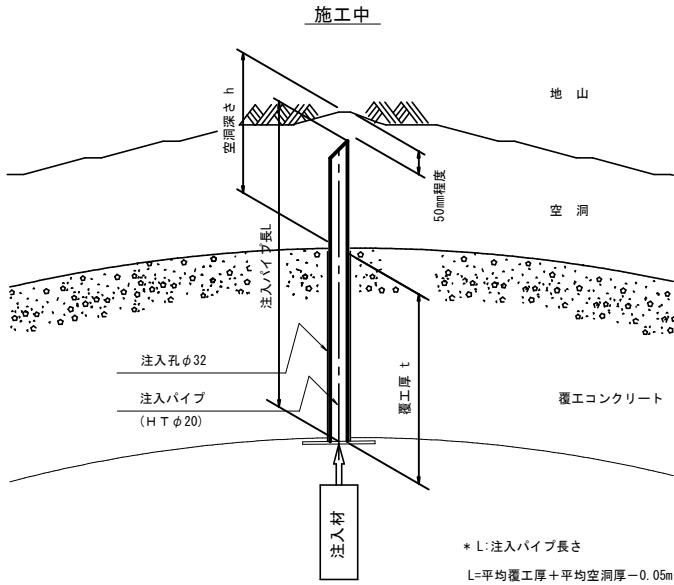
注入孔（確認孔）管設置 材料表				
（1箇所当り）				
項 目	規格・仕様	単 位	数 量	摘 要
耐熱性硬質塩化ビニル管	H T φ20（外径φ26）	m	0.24	0.26m（平均覆工厚）+0.03m（平均空洞厚）-0.05m
削 孔 工	φ32程度	m	0.26	平均覆工厚
削孔間詰め材	エポキシ樹脂系接着剤	箇所	1	

裏込注入工数量			
項 目	単 位	数 量	摘 要
設計注入量	m ³	5.16	発泡ウレタン（40倍発泡：30kg/m3あたり）調査値の6.0倍
注入孔	孔	5	φ32程度

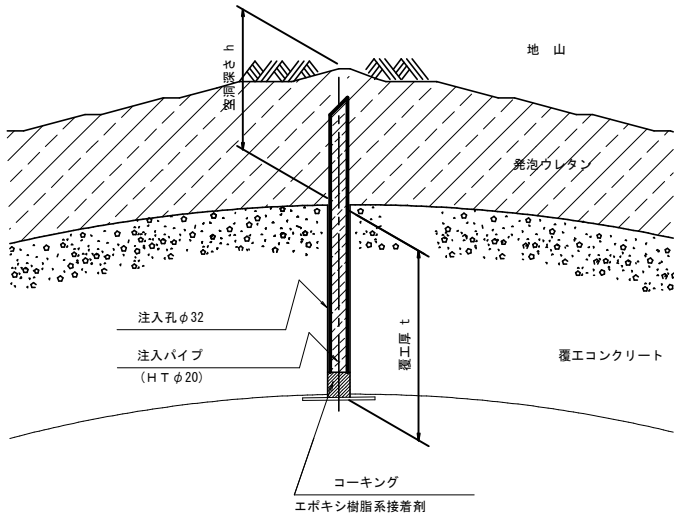
※本トンネルは平均空洞厚が5cm未満のため、注入パイプ長が計算上平均覆工厚より短くなっている。
施工時には注入孔毎に覆工厚、空洞厚を精査して、注入パイプを設置すること。

※本トンネルは素掘りによる施工のため、地山の凹凸が激しくH28年工事実績と調査数量に乖離が大きくてた。
よって、本工事の設計注入量はH28年の工事実績を基に、調査数量の6倍を想定している。

注入管 詳細図



注入孔復旧



路線名	県道259号		
紅葉トンネル			
図 名	空洞充填工詳細図		
位 置	神石高原町		
縮 尺	—	単 位	mm
図 号	全	2	葉中の内 2
平成	年度施行		広島県
神石高原町 建設課			